

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

8

月号

2026
vol.721

優YU 合同会社ケアプランサービス優

訪問看護
ステーション 優

P 03-06 特集

会員増強

2026年度2,550名の仲間づくりを目指して

P 07-09 21世紀型自立型企业づくり

人に優しくあるために

～地域でなくてはならない企業を目指して～

合同会社 ケアプランサービス優

代表 石井 裕子 氏(田川支部)



福岡県中小企業家同友会
月刊同友の
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



福岡県中小企業家同友会

cover story

会員増強

2026年度 **2,550名**の
仲間づくりを目指して



福岡同友会の2026年度会員数は2,467名からのスタートとなりました。福岡同友会が掲げる2030ビジョン(なりたい姿)の実現に向けて、今期は2,550名(純増83名)の仲間づくりにチャレンジします。会員増強を“同友会運動の原動力”として、2025年度からは同友会づくり推進本部から独立して増強本部を立ち上げました。すべての会員がその意義を受けとめ、仲間を増やす、仲間同士の関係を強化する、同友会の学びを広げるなどの増強をすすめていきましょう。

これまで会員増強は、一部の担当者を中心に進められる場面も多く、組織全体で取り組むテーマとしては、まだ十分に共有しきれていない部分もありました。しかし、本来の会員増強は、単に会員を増やすことだけが目的ではありません。

経営環境が大きく変化し、経営課題も複雑になる中、経営者が一人で悩みを抱え込むと、どうしても視野が狭くなったり、判断に迷ったりすることがあります。

2025年度より「増強部」を「増強本部」として独立させた意義は、単なる組織改編ではなく、会員増強を「同友会運動の原動力」として改めて明確にした点にあります。

会員増強とは、「同友会のため」だけではなく、「自社経営をより良くするため」の活動でもあります。また、仲間が増えることは、地域での信頼や発言力の向上にもつながります。行政・金融・教育機関との連携や、企業同士のつながりが広がることで、地域をより良くする力にもなっています。

Q 増強部が本部になった意義・目的は何ですか。



増強本部長に聞きました！

仲間が増えれば、自社や地域の未来が広がる

増強本部 本部長／副代表理事

入江 恵美氏(福友愛支部)

2025年度より「増強部」を「増強本部」として独立させた意義は、単なる組織改編ではなく、会員増強を「同友会運動の原動力」として改めて明確にした点にあります。

会員増強とは、「同友会のため」だけではなく、「自社経営をより良くするため」の活動でもあります。また、仲間が増えることは、地域での信頼や発言力の向上にもつながります。行政・金融・教育機関との連携や、企業同士のつながりが広がることで、地域をより良くする力にもなっています。

これまで会員増強は、一部の担当者を中心に進められる場面も多く、組織全体で取り組むテーマとしては、まだ十分に共有しきれていない部分もありました。しかし、本来の会員増強は、単に会員を増やすことだけが目的ではありません。

経営環境が大きく変化し、経営課題も複雑になる中、経営者が一人で悩みを抱え込むと、どうしても視野が狭くなったり、判断に迷ったりすることがあります。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

合同会社 ケアプランサービス優
代表 石井 裕子 氏(田川支部)



私が石井裕子さんをご紹介します！

土地家屋調査士奥永事務所
所長 奥永 尊仁
(田川支部)



石井裕子さんとは、同友会の入会は同期であり、第20期の2泊3日セミナーにも一緒に参加し、現在は同友会づくりプロジェクトの担当副支部長として共に支部の発展に力を注いでいただいています。

また、ご縁としては、石井さんのお父様が尺八の演奏家であり、共に田川広域観光協会のスタッフとして都心部へ田川のPRに向き、お父様が尺八を演奏し、私が法螺貝を鳴らし共演したステージで、石井さんが応援に駆けつけてくださった際にお会いしたのが初めての出会いです。プロの演奏家に対し素人の私が山伏の格好をして法螺貝を吹けたのは奇跡のような出来事でした。

石井さんから見ると「何してんの？」って感じだったと思います。

さて、経営者としての石井さんについてですが、田川支部の中でも凄まじいスピードで会社を発展させている経営者です。入会後にどんな会社が大きくなっているか、石井さんに「すごいね！」って声をかけると、いつも「私は何もしていない」と言いますが、素直に同友会の考えを自社に取り入れ実践している姿は凄く頼もしいです。

これからの、田川支部にとって唯一無二の存在ですので、共に田川地域を盛り上げていきましょう。

現場からひとこと



田川市の合同会社ケアプランサービス優に伺いました。石井さんはまさに「同友会活動と自社経営は不離一体」を体現されており、他責から自責への意識改革、経営指針の実践、組織運営の疑似体験、そして地域への思い等々、深いお話をたくさん聞くことができました。また、「お母さんの笑顔が家庭を幸せにする」という言葉が印象的で、スタッフの方が仕事のストレスを家庭に持ち込まないよう、何でも話せる関係づくりに努めていることも素敵だなと感じました。「筑豊一の会社」を目指す石井さんに今後も注目しております！

撮影・文/同友会事務局 本村麻結

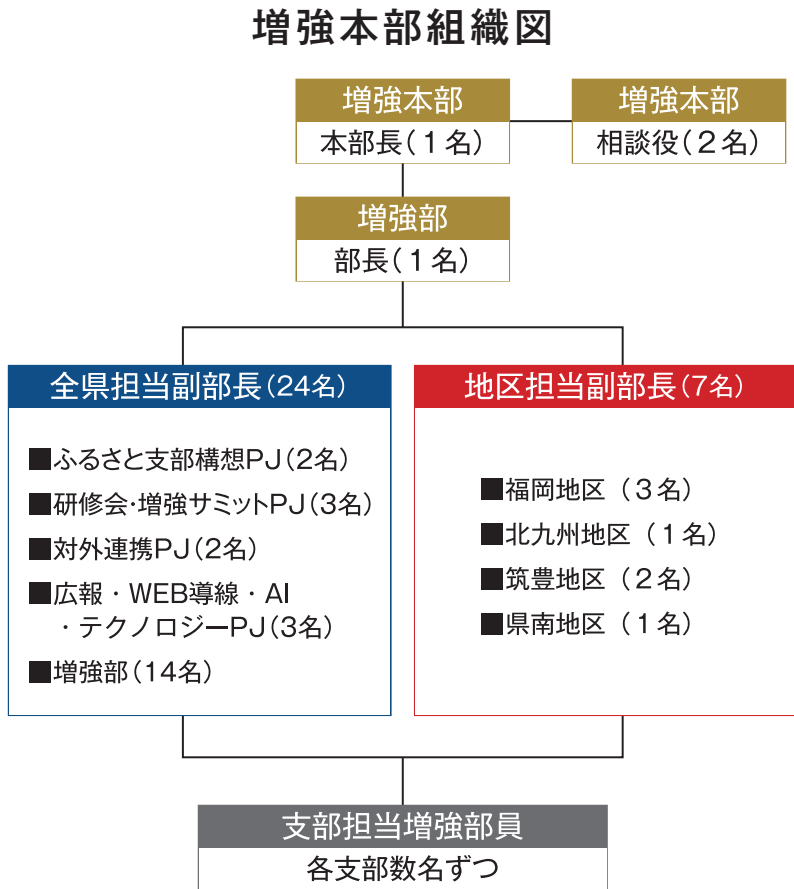
詳しくは7ページ「21世紀型自立型企业づくり」へ！

制づくりです。自社の未来と地域の未来を、仲間と共につくっていく。その想いを形にするために、福岡同友会は会員増強を本部化しました。

Q その体制について教えてください。

A 本部化2年目となる2026年度の増強本部では、全県でより連携

しながら取り組みを進めていくため、「増強本部長」「増強部長」「増強副部長（各地区・プロジェクト担当）」「各支部の増強担当者」という新しい組織体制をつくりました。この体制の特徴は、県・地区・支部がつながりながら、みんなで支え合って取り組める点にあります。各支部の取り組みや成功事例を共有し合うことで、新しいヒントや学びが広がり、課題が出た際にも相談し



Q 増強部の具体的な取り組みを教えてください。

A 2026年度、福岡同友会は会勢2550名を目標に掲げています。私が増強部に関わり始めたのは2017年で、気がつけばもうすぐ10年になるうとしています。当時から福岡同友会にとって2500名は大きな



会員増強部 部長

豊島 圭氏（博多支部）

目標であり、多くの会員の皆さんのご協力と各支部の積み重ねによって、ようやく手が掛かるところまで来ました。だからこそ、今年度は何としても福岡同友会としてこの壁を乗り越えたいと思っています。

ただし、増強を単なる「会員数を増やす活動」として捉えたくはありません。増強とは、会員数を増やす活動で

ある前に、「同友会に入って会社がよくなった」と語れる会員を増やす活動です。同友会で共に学び、自社をよくし、

地域に必要とされる会社をつくろうとする仲間を増やすこと。その積み重ねが、結果として会勢2550名につながっていくのだと考えています。

私は、同友会運動と会社経営は不離一体だと考えています。支部の仲間を巻き込むこと、目標を共有すること、進捗を確認し、うまくいかないことを出し合い、次の一手を考えることは、まさに会社経営そのものだと感じています。

今年度の増強部では、各支部の課題を把握し、必要な打ち手を一緒に考え、楽しく増強活動ができる風土づくりを進めていきたいと考えています。増強担当者一人だけが頑張るのではなく、支部全体で仲間づくりに取り組む体制をつくるのが大切です。そのために、増強チームがない支部には、支部有志と増強部が一緒になってチームづくりを支援することも考えています。

Q 7月29日に開催予定の「知る会研修会プラス」について教えてください。

その学びの場として、7月29日に「知る会研修会プラス」を開催予定です。当初は5月28日に開催予定で、各支部にサテライト会場を設け、本部会場とZOOMでつなぎ、研修後には各支部で増強について話し合っていた計画でした。しかし、同友会の中心的な役割を担われた方々のご逝去に伴い、直前で延期する判断となりました。ご準備いただいた各支部の皆さま、

やすい環境づくりにつながります。

また、地区担当の副部長を配置することで、それぞれの地域の状況に寄り添いながら支援できる体制を整えました。支部ごとの悩みや課題と一緒に考え、孤立せずに取り組めることも大きな特徴です。

さらに、増強に関わる取り組み（テ

増強部長に聞きました！

2550名体制へ。

仲間づくりを通じて、会社も同友会も元気に

予定を空けてくださった皆さまには、十分に丁寧な説明や連絡ができず、大変申し訳なく思っています。ご批判もいただきましたが、県下一丸となって増強を進める立場として、私自身にとって大きな学びとなりました。段取り、情報共有、連絡、フォロー、その一つひとつが信頼につながります。この経験を今後の増強部運営に活かしていきたいと思っています。

Q 今後のスケジュールはどうなっていますか。

A 今後の取り組みとして、毎月第一月曜日に会員増強部会議を定例開催していきます。現在は、参加できる方は福岡市の同友会会議室に集まり、難しい方はZOOMで参加する形で行っています。今後は、各地区や各支部でサテライト参加していただく形も取り入れ、会議後すぐに自支部の増強について話し合える流れをつくれればと考えています。

また、8月24日には地域づくり推進本部と共催で「信用保証協会を知る会」を開催予定です。外部機関との関係づくりを通じて、地域の中小企業を元氣

マ）ごとの担当を設けることで、単発ではなく継続的な活動として積み重ねていけるようにしています。この体制を通じて、各支部の取り組みを全県の力へとつなげ、より多くの経営者が学び合える環境づくりを進めていきます。

にする取り組みにもつなげていきたいと考えています。

そして、1月8日には「増強サミット2027」を開催予定です。昨年度は県内全支部に参加いただき、各支部の取り組みや課題を共有する、まさに増強のお祭りのような場となりました。今年度も、各支部の実践を持ち寄り、互いに学び合い、次の行動につながる場にしていきたいと考えています。

増強は、一部の人だけが頑張る活動ではありません。会員一人ひとりが、自分の言葉で同友会の魅力を語ることから始まります。「この会で学んできた」「この人にも同友会を知ってほしい」と自然に声をかけられる空気をつくるのが、何より大切だと思っています。

会勢2550名へ。福岡に、学び合う経営者の輪を広げる。そのために、増強部は各支部・各地区と共に、楽しく、前向きに、そして会社経営と不離一体の活動として、仲間づくりを進めていきます。



同友会で役職をいただき、方針に則った活動をする石井裕子さん。同友会活動と自社の経営の不離一体の報告です。

人に優しくあるために 地域でなくてはならない 企業を目指して



事務所内の様子



合同会社 ケアプランサービス優
代表 田川支部
石井 裕子 氏

取材＝広報情報委員会 文＝菅原弘(東支部) 写真＝本村麻結(事務局)

ケアプランを策定し 支援する会社

合同会社ケアプランサー
ビス優・代表の石井裕子さ
んが笑顔で迎えてくれまし
た。「ケアプランをつくる業
務です。その支援のための
訪問看護ステーションと居
宅介護支援事業所を営んで
います」。

ケアプランとは、要介護
(要支援)者が望む看護を続
けるために、どの介護サー
ビスをどの頻度・時間・事
業所で利用するかを具体的
にまとめた『居宅サービス
計画書』のことで、ケアマ
ネジャーが本人・家族と話
し合いながら作成し、市町
村の介護保険制度に基づき
運用されます。

石井さんは田川市で生ま
れました。やがて看護師資
格を取得し、田川市立病院
で看護師として働きます。
尊敬する人生の先輩たち
が、入退院を繰り返す中、
自宅でどんな生活を送って

衝撃のセミナー

石井さんと、(有)英設備
工業の荒川雅光さん(田川
支部)の奥さんとはママ友
の仲です。石井さんが会社
を立ち上げたのを知って荒
川さんは「経営理念はある
の？」と問いかけてきまし
た。

いるのか気になり、自宅の
様子がわかる訪問看護なら
ば、その一助になるのでは
ないかと考えるようになり
ました。また結婚して子ど
もが4人(現在5人)おり、
夜勤の多い看護師の仕事よ
りも家族とともにいられる
と考え、自ら訪問看護ス
テーションの立ち上げを決
断し、2013年5月に法人
化しました。「社名の『優』
は息子の名前から一字とり
ました」と語ります。

ケアプランには、多くの
法律が絡み習得に6年を費
やしました。2019年に
訪問看護ステーション開設
となります。

支部の増強活動に学ぶ

「この人たちとなら…」と 感じてもらえる関係づくりから

南支部 支部長 阿部弘美氏

南支部では、増強の取り組みを「増」と「強」の二つのプロジェクトに分けて推進しています。

まず「増」では、ゲストフォローと会員フォローを中心に活動しています。ゲストフォローでは、単に入会を勧めるのではなく、ゲストがどのような経営課題を抱えているのかを丁寧に聞き取り、その課題を南支部で共に学び、実践しながら解決していけることを感じてもらうことを大切にしていま



南支部例会の様子

す。

また、「この人たちと一緒に学べば成長できそうだ」「ここなら楽しく学べそうだ」と思ってもらえる関係づくりを、プロジェクトリーダーを中心に継続して行っています。会員フォローでは、経営上の悩みを抱えた会員に対し、少人数で集まる「緊急裏同友塾」を開催し、課題の整理や分析、優先順位付けを行いながら実践につなげています。また、例会への参加が少なくなった会員にも積極的に会いに行き、「年に一度でも参加してください」と声を掛け続けることで、会員とのつながりを大切

支部独自の 学びのコンテンツで「強」

次に「強」では、あすなる塾や経営指針作成セミナーへの参加を確実に案

内するとともに、支部独自の学びのコンテンツを用意しています。「マーケティング講座」では経営の原理原則やSWOT分析の基礎からクロス分析までを学び、最終的には「売上実践塾」で実践計画へと落とし込む内容となっ

ています。この学びを通じて、自社の事業選定そのものを見直した会員もあり、実践的な成果につながっています。また、同友塾(ワンシートの作成)

は自社を俯瞰して見つめ直す機会として、叱咤激励を受けます。黒字経営を実現するためには自社の財務構造を正しく理解することが不可欠であるとの認識も深まっています。同友会の経営指針書作成の手引きにある「科学性・社会性・人間性」の三つのバランスは、まさに経営の維持発展に欠かせない要素であり、その重要性を支部全体で共有しています。と真面目な南支部ですが、更に懇親会でも経営談義をするのが当たり前の風土も持ち合わせています。

共に学び、共に実践し、 共に育つ文化がある

では、支部はどのように変わったの



南支部メンバー(下段右から3番目が阿部支部長)

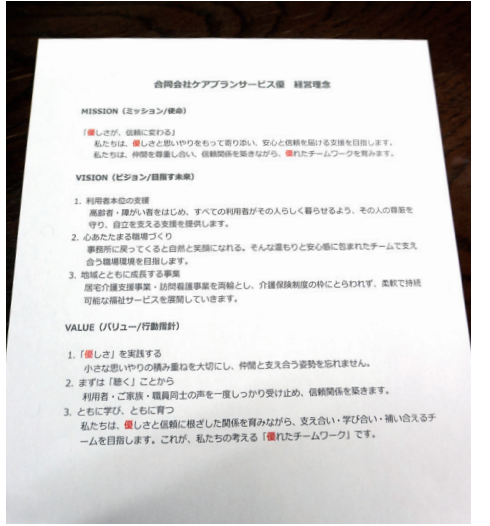
か。一言で表現するなら「活性化」です。南支部には、「人を生かす経営」の学びを深め、実践する風土が日々受け継がれています。そして、その学びを実践し結果を出してきた先輩経営者が今も現役で活躍し、その背中を見て成長している会員が多く、その姿に刺激を受けながら、世代を超えて共に学び、共に実践し、共に育つ文化が形成されています。同じ志と熱量を持つ仲間が集まり、互いの成長を喜び合える状態こそが、現在の南支部の「活性化した姿」であると感じています。

私たちは世代を超え、時にライバル、時に遊び相手、そして腹を割って弱音も話せる良き仲間であるのです。



事務所内の
スタッフ紹介コーナー

スタッフと共有する
経営理念



初めは意味が分からず「介護と設備業とは業種が全然違うので、わかるはずがありませんよ」と答えていました。誘われるがまま、とりあえず同友会の例会に参加してみました。荒川さんのペースで話が進み、入会。そしてあすなる塾・経営指針作成セミナーを受講しました。「自分に合わないければ、退会すればいい」と思っていました。

あすなる塾の理念作成では、自分の頭の中にある概念を成文化することに苦労しました。続く経営指針作成セミナーでは、「すごい衝

撃を受けました」と話します。スタッフの会員が夜遅くまで指針作成のために親身になって相談に乗ってくれました。志高く会社を立ち上げてやってきたはずなのに、なかなかうまく進んでいきません。その理由は、すべて社員・スタッフのせい、つまり『他責』としていたことに気づかされたのです。

改めてつくり直した経営理念（ミッション）は次の通りです。
『優しさが、信頼に変わる』

●私たちは、優しさと思いやりをもつて寄り添い、安心と信頼を届ける支援を目指します

●私たちは、仲間を尊重しあい、信頼関係を築きながら、優れたチームワークを育みます
これをさらにビジョン、バリューと展開しています。

2泊3日のセミナーで衝

撃を受け洗脳された石井さんでしたが、その思いをなかなかうまく社内に伝えられず、日々の多忙な業務に追われ徐々に埋没していきしました。「他責を悔いる気持ちはあるのですが、会社は何も変わらない」とジレンマに陥ります。

同友会で事件発生

同友会では副ブロック長を務めていました。役員改選でブロック長の話が来ましたが、仕事の多忙を理由に断りました。難航を続けたブロック長選出でしたが、そのブロック長が初回のブロック会を終えるとサッサと退会してしまいました。またもや選出の動きに石井さんも断り続けていました。まさに事件です。

すると他ブロックから中村信文さんが手を挙げて引き受けてくれました。
「なぜあの時、自分たちのブロックの中から選ばなかったのだらうと、ものす

ごく後悔しました」。石井さんはその任期の2年間、副ブロック長として懸命に支えました。自分でも手探りの活動でした。次期には、ブロック長を率先して受けることにしました。「時間はつくるものだ」と覚悟を決めました。そして『副』と『ブロック長』では、ものの見方が全然違うことに気づきました」。

支部例会を担当する

担当したブロックは『同友会づくりブロック』です。同友会の歴史と理念を学ぶ方針が示されています。例会を担当するため、例会企画案を役員会に提出したところ、けんもほろろに突き返されました。理由は教えられません。自分で考えるということです。

何度かのやり取りで分かったのは、支部の方針に則っていないということでした。そこでブロック会では、毎回石井さんが『方針』

をプリントにして配り説明することから始めました。担当する支部例会のテーマは、『同友会の歴史と理念』としました。そして、石井さんがどうしても報告者をお願いしなかったのは中山英敬さん（中小企業家同友会全国協議会幹事長、南支部）でした。企画は役員会を通り、石井さんは座長を務めました。「座長のまとめのために『人を生かす経営』を何度も読み返しました」。例会後の懇親会では、中山さんから『合格点』をいただきます。とても感激したと言います。

「奥永尊仁支部長のおかげです。方針の大切さを知りました」。今期は副支部長を拝命しさらなる学びを深めることとなります。

自社を振り返る

さて、自社を振り返ってみました。相変わらず、理念の具現化がしっくりいっていません。改めてその理

由を考えてみました。同友会には仕組みがある、だから実行できる。自社にはその仕組みがない。さらに自分には思いはあるけれども、それを伝えることができていない。ならば、それをできる人をお願いすればいいという結論に達しました。

そこでかねてから懇意にしていた研修の講師をされている芳川龍太さんを招いて、理念経営の実践に取り組むことにしました。「まず、自分の頭の中を全部見せました」と語ります。

人に優しくあるために

コミュニケーションを重ねることで、社員・スタッフの不満も明らかになっていきました。石井さんが目指したのは「ストレスや不満を会社で発散して、自宅には持ち帰らないでほしい」ということでした。こ

その後、芳川さんは社員・スタッフに対し「石井さんが考えていることはこういうことだ」と説明を始めました。第三者の説明で理念を浸透させ、行動指針が明確になり、目標計画シートが出来上がってきました。それに基づき面談が行われました。会社の理念と各人の目標のズレを修正してい

き、やがて進むべき方向が一致していきました。面談は定期的に行われ進捗状況を確認しながらPDCAを回していきます。また、目標を描いてラミネート加工して身近に置くようにしています。

地域になくてもならない会社

地域に根差して事業を展開していると、末期がんと闘う人に寄り添うこと、さらに死を看取る場面に立ち会うことなど、様々なシーンに出会います。自分たちができることは何かを常に考えています。

介護はとてすそ野が広い仕事です。石井さんは10年ビジョンとして、『障がいのある人』のケアまで広げ

たいと考えています。地域で一番の会社、地域になくてもならない会社を目指しています。

取材の最後に石井さんの考える自立型企業についてお伺いしました。

「社員一人一人が理念に責任を持って、自分事として取り組んでいる会社でしようか。同友会と出会って本当によかったです。同友会が私の人生そのものです」と笑顔で締めていただきました。

取材協力ありがとうございます。

合同会社ケアプランサービス優

創業 2013年
住所 田川市糺495-5
電話 0947-23-0505
社員数 19名
事業概要 介護支援業務

<https://cps-yu.com/>



企業情報



石井さんのAction

- ①病院看護師として働く中で、訪問看護への思いを募らせ、自ら訪問看護を開業。
- ②田川支部の荒川さんとのご縁で、同友会に入会。さっそく2泊3日セミナーで衝撃を受け、指針書を作成。
- ③所属ブロックでブロック長が選出できなかった出来事が大きな転機に。以来役員を率先して引き受けることに。
- ④同友会役員として仕組みの大切さを実感、自社の理念浸透を仕組み化して実践中。



福岡同友会約2,500名の会員のうち、現在約400名が女性経営者です。会内すべての女性会員が所属する女性部委員会は、1996年度のプロジェクト活動を経て、1997年度に発足しました。

以来、女性経営者としての課題解決、悩みの共有、会員同士の交流を目的としてこれまで活動を続けてきました。そして今期、新たな体制のもと、委員会活動の活性化、その先には同友会運動の活性化をめざして、活動をすすめています。

今号では、女性部委員会新委員長の舌間陽子氏にインタビューを行いました。

取材：広報情報委員会 林田孝一（ひびき支部）

女性部委員会に関わるようになったきっかけは？

私が女性部委員会に関わりだしてからは1年ちよつと、それまでは委員会の存在もあまり知らなくて：（汗）。前委員長の中原亜希子さん（ひびき支部）から声をかけていただいて、女性部委員会の活動に関わるようになりました。しかもいきなり次期委員長候補として（笑）。聞いた話では次期委員長選考の検討をされているときに、「現在役に就いてなくて適任の人は誰か？」って話の中で、私の名前があがったそうです。その会議に私が入会した時の紹介者でもあった北原正さん（南支部）もいらつしゃって、「いいんじゃない」ってお墨付きを出しちゃったもん



interviewee
女性部委員会 委員長
舌間 陽子氏
(株)アンジュ ブラン・福友愛支部

だから話が来て：「バレちゃった」って感じでした。ですけど「はい、かイエス」が伝統の同友会ですから、お引き受けることになりました。

女性部委員会として
これまでどんな活動を？

私に関わる以前の2024年度までは女性部委員会としての活動がなかなかできていない状況だったそうです。2025年度からは新しい女性部組織づくりを意識して「先ず出会いをつくる」ことからスタートしました。女性会員全員が女性部委員会に所属しているにも関わらず、以前の私と同様に、そのこと自体を認識していない女性会員の方が多い現状がありました。

昨年10月に「中原亜希子委員長と語る会」を開催し、初参加の方が10名程度参加されました。12月にはクリスマス会、1月には下岸千恵さん（福友愛支部）から女性に合うカラー診断の話、2月には南玲子さん（福博支部）から人材育成の仕組みづくりの話、4月には園田京子さん（南支部）から女性が活躍するための労務的な話をテーマに例会を開催しました。女性部委員会として「らしさ」のある新たな一歩を踏み出すことができた一年だったと思います。

ます。

女性の「らしさ」とは？

現在では女性、男性とかいう時代じゃないって言われますが、見えない天井があると感じるころはあります。さかのぼれば狩りの時代から昭和の時代まで、女性は男性の帰りを待つ存在でしたし、男性を立てるところもあって、マルチに物事を見ることができる。持って生まれた母性もあって、女性同士で盛り上がりつつあるときに、何か相談すると「やるよやるよ」って気が回るところもある。そういうのって今の時代に強みになるんじゃないかって。経営者にとっても男性との違いが何か役に立つ形で融合すれば一番良いのかなって思います。



2026年度兵庫女全交に参加した福岡同友会メンバー

女性部
委員会
6月例会

No.2から見た経営の世界と経営者への向き合い方

報告者：株式会社Branches 取締役 本松 ちなみ氏



株式会社BranchesのNo.2の本松さんの報告では、ご自身の経験をもとに経営幹部としての役割について語られました。同社は保育・訪問看護・障がい福祉など「子育てのあらゆる課題を突破する会社」として事業を展開し、現在では38事業所、従業員425名を擁する企業へと成長しています。その成長の中で本松さんは保育士から園長、取締役へと立場を変え、現場責任者から経営幹部へと歩みを進められました。

しかし、現場では成果を上げていた一方で、経営の立場になると何を考え、どう判断すればよいのか分からず、大きな壁に直面します。経営者から期待される役割に応えられない自分に悩み、「現場に戻りたい」と感じるほど苦しい時期もあったそうです。

その転機となったのが同友会での学びでした。ブロック



らしさあふれる和やかな例会

長や支部役員などの役割を経験する中

で、経営とは現場を管理することではなく、会社全体の未来を描き、組織を動かすことだと気付かれます。そしてNo.2の役割は、自らが経営者と同じ視点を持ち、その考えや理念を社員に分かりやすく伝え、現場へ浸透させることだと学びました。

最後に、本松さんはNo.2として大切にしている姿勢を紹介しました。それは、自らが経営者の言葉を最も理解し、社員へ前向きな言葉で伝えること、社員とのコミュニケーションを密にして信頼関係を築くこと、守りだけではなく一歩先を見据えて挑戦することです。No.2は経営者と社員をつなぐ架け橋であり、組織の成長を支える存在であるという言葉が強く印象に残りました。今回の報告を通じて、経営幹部は経営者の右腕として理念を体現し、組織全体を前向きに導く重要な役割を担っていることを改めて学びました。

レポート：北原正（南支部）

6月25日(木)開催
参加した新会員▶24人

NEXT

9月26日 土

※お昼の開催です。
ご参加を
お待ちしております。



2026年度 第2回 理事会議事録

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

開催日時 6月24日(水) 14時30分～17時35分
出席数 36名(出席率94.7%)

会場 のがみプレジデントホテル 羽衣の間
議長 小林 正広

【審議事項・協議事項】

1 入退会審査

入会14名、退会7名、休会1名が承認され、6月承認会員数は2,449名となった。また移籍1名が確認された。

2 「全体構想」について

貞兼代表理事及び各担当副代表理事より「活動」工程表と「組織」について、進捗報告及び意見集約がされた。継続協議。

3 2026年度定時総会「質問への回答」について

審議の結果、2026年度定時総会「質問への回答」について承認された。

4 企業づくりより

経営指針の成分化と実践率の数値について、2026年度はゼロベースで行くことが承認された。

目標達成に向けて、毎月の役員会で確認して積み上げてほしいと依頼がされた。引き続き、企業変革支援プログラムの登録について、現状の確認と意見交換が行われた。こちらについては、現在90名の登録となっており、数値は2026年度の取り組みとしてリセットされている。まずは理事が登録をしてほしいと呼びかけがされた。

5 研修本部より

研修5ステップの全体像について承認された。

研修本部に出てきていない支部もあるが、今後各支部の意見を取り入れたので、部員には参加するよう支部で促してほしいと呼びかけがされた。

6 総務財政室より

● 訃報に関する手続きについて会員が死亡した場合は全会員にお知らせを流すようにする。基本的には、e.doyuの掲示板機能を使うが、メールがない会員には、FAXをすることが承認された。

● 入札の規定について、応札に関して、今までは封筒に見積書と資料を入れて封印した上で提出してもらうようになっていたが、仕様書のボリュームが増えきていることもあり、仕様書等についてはメールでの提出も可能とすることが承認された。

7 中同協関係

● 中同協協会に参加する方は代議員として理事会承認が必要で、総会参加者の37名が代議員となる。今年はすぐ定員に達してしましたが、来年は理事全員で参加することが承認された。

● 中同協幹事の選出について

中同協幹事として3名を福岡から選出する必要がある。2代表理事に加えて、

川畑専務理事を幹事として推薦することが承認された。

8 会員企業の動き

■ 経営革新計画承認企業

● 2025年4月～5月(県72件<4月36件・5月36件>/うち同友会会員企業6件)

4月・エイキューリンクス(株) 永井 雅久さん(南支部)<内容>非公開
・合同会社あなただけの御用聞き 三輪 智人さん(福岡支部)
<内容>想い入れのある着物をリメイクする「思い出サービス」による販路開拓

・(株)メロウ 木原 さおりさん(中央支部)<内容>非公開

5月・陶芸工房プラス 林 千貴さん(東支部)
<内容>未就学児向け給食用強化磁器食器「はぐむ器」の開発及び販売開拓事業

・(株)Buddy 吉行 剛さん(福岡支部)<内容>非公開

・(株)ヴァンテック 倉重 満寿也さん(有明支部)

<内容>プリント基板製造品質向上への検査連携システム開発と仕組の構築

■ 表彰など

● 2025 年秋の叙勲

・ 旭日小綬章 北原 勉さん
(社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員・博多支部)

■ 報道記事など

● 2026 年 6 月 17 日西日本新聞

(株)アーキテックス 栗山 浩さん・南支部)

■ 事務局関係報告

・事務局スケジュールについて

7/13～7/14、8/19～20 インタビューシップ受け入れ(北九州地区センター)

7/31(金) 事務局旅行、暑気払い

8/13(木)～8/16(日) 夏季休暇

※ 8/12(水) 有給取得奨励日

12/4(金)～5(土) 九州沖縄ブロック事務局研修 in 沖縄

12/18(金) 忘年会

12/29(火)～2027 年 1/4(月) 年末年始休暇

※ 12/28(月) 有給取得奨励日

新委員長として2026年度は
どんな活動を？

2026年度も2か月に1回の頻度で例会を開催していく予定で、女性部が今後活躍・発展していくために必要な情報をテーマに考えていきます。昨年度から新たなスタートを切って、例会の参加者も少しずつ増えてきていますし、中原前委員長も関わっていただけるので心強いです。

委員長として大それたことは言えませんが、約400名いる女性会員のうち、100人ぐらいは参加する委員会にはしていきたいなって「参加しないと損」って思える例会を作っていくたいです。もちろん男性会員の参加も歓迎です。支部と違って全県が活動エリアなので、各地区での例会を開催しながら、新しい女性会員を迎え入れて、地道に広げていきます。

青年経営者部会(45歳以下の会員は全員所属)とも協力して何かできたら



兵庫女全交で中同協女性部連絡会代表の橋本久美子さん(株式会社吉村・東京同友会)と交流

なって、個人的には思っています。

8月と11月に開催する
ワークショップの内容は？

今年8月と11月には福岡県主催の「女性活躍推進ワークショップ」が開催されます。この広報・窓口を女性部委員会が担います。テーマはアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を見つめ直し、自社の取り組みに活かしていくことです。これは女性だけの課題ではなく、採用・定着・人材育成・組織活性化に直結する経営課題であり、すべての企業にとって重要なテーマです。経営者はもちろん、人事担当者や管理職の参加も可能です。先だってテーマに関する意識調査のアンケートにも取り組んでいます。これをどれだけ集めるかも、この催しの成果につながります。

この取り組み自体が私たちの意識改革になりますし、女性部委員会として結束できる成果を得たいと思っています。また、福岡県が求めるものに同友会がそれ以上のもので応えることができれば、今後福岡県が同友会に対して大きな期待を寄せてくれることにもつながります。ぜひ一緒に成功させましょう。

次世代を勝ち抜く経営戦略 誰もが活躍できる組織づくりワークショップ

得られる
こと!

女性活躍促進に向けて／

- 1 講師や同じ課題に向き合う経営者からヒントが得られる
- 2 「無意識の偏見」に気づき自社課題を特定できる
- 3 その場で「行動プラン」をつくることで実践につながる
- 4 伴走支援や広報特典(調整中)で企業認知が広がる

第1回

8月31日月

【時間】17:00～19:00

中小企業振興センター202会議室
(定員:50名程度)

- 特別講演 園田 博美氏
(株式会社キャリア研究所 代表取締役)
- 女性活躍取組宣言
- グループワーク・意見交換
- 自社取組の検討
- アンコンシャス・バイアスチェック結果(アンケート)の報告

女性活躍推進の必要性を実感できる講演を踏まえ、グループワークを実施。無意識の思い込みの気づきから、自社でできる取り組みを考える。

第2回

11月27日金

【時間】17:00～19:00

天神チクモビル大ホール
(定員:50名程度)

- 女性活躍取組宣言
- 女性活躍取組の振り返り・状況の共有
- グループワーク・取組の深掘り
- 新たな取組の提案・議論

第1回を踏まえ、参加者が自社での取組を宣言。女性活躍推進に向けた新たな目標設定につながるための提案を行う。

※2回連続での開催。第1回、第2回ともに
ご参加いただきます。

アンケートに
ご協力を!

1分で
すぐに
できる!

回答期限
8月31日

こちらから



ワークショップのチラシ

終了後には“楽しい懇親会”も予定しています!

お申込み・お問合せは同友会事務局まで



同友すばる委員会

1土 **同友文化塾第1講**
14:00～17:00
アクア博多 C会議室
福岡市博多区中洲5-3-8アクア博多3F
☎ 092-263-4770
語りつくせぬ博多の歴史と文化
～博多の祭り～
■ **上田 啓蔵 氏**
西門蒲鉾本店 代表者（玄海支部）

地域づくり推進本部

3月 **中小企業魅力発信
月間大勉強会**
13:30～17:00
リファレンス駅東ビル
福岡市博多区博多駅東1丁目16-14
☎ 092-432-0058
地域の空き家問題を自社課題として取り組む
■ **吉浦 隆紀 氏**
有限会社吉浦ビル 代表取締役（南支部）
■ **森田 英介 氏**
有限会社吉浦ビル CEO（南支部）

8土 **かすや支部8月例会**
19:30～21:30
肴やだんじ
福岡市博多区博多駅前2丁目11-22
☎ 092-292-9073
納涼会

17月 **飯塚支部8月例会**
18:30～21:00
バドゥ・ル・コトブキ
飯塚市片島1丁目7-62
☎ 0948-22-5138
成功の先にある「驕り」という罠
～先人の経験・知恵に学ぶ企業づくり～
■ **川畑 義行 氏**
（一社）福岡県中小企業家同友会 専務理事

18火 **大牟田支部8月例会**
19:00～21:00
AUREA 大牟田市有明町1丁目1-22 ☎ 0944-32-9767
数字が苦手な私が日々やり直し、やり抜く！～経営指針書と共に歩み逃げない経営～
■ **竹谷 聖 氏** 占部大観堂製薬株式会社 取締役（東支部）

18火 **博多支部8月例会**
18:30～20:50
es ROOFTOP GARDEN BAGUS NAKASU
福岡市博多区中洲4-6-12 prato NAKASU9F-10F
☎ 092-263-7520
盛夏の夕べ
語らいと涼のひとつき

18火 **福友和支部8月例会**
18:20～20:45
アクア博多
福岡市博多区中洲5丁目3-8
☎ 092-733-1310
WEB会議システム「Zoom」（ZoomミーティングID等は別途連絡）
『社員を育てる』から『社員が育つ環境』へ
～自ら考え、判断し、行動できる組織づくり～
■ **本田 幸一郎 氏**
株式会社アルマデ 代表取締役（福友和支部）

18火 **田川支部8月例会**
18:30～20:30
福岡県立大学大セミナー室
田川市伊田4395
☎ 0947-42-2118
あなたの会社の存在意義は？
自社の根底にある価値に気づく時、すべてが始まる
■ **上原 晃一 氏**
株式会社ユナイテッドファム 代表取締役（田川支部）

18火 **北九州支部・ひびき支部
合同納涼会**
18:30～21:00
創案物語 志音
北九州市八幡東区桃園2-3-9
☎ 093-661-0017
納涼会
共に語らい、新たな価値を生み、共に未来を拓く

18火 **玄海支部8月例会**
18:30～21:00
チクモクビル大ホール
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
石油不足の影響に対する準備
共に学び、つながり、未来を作る
■ **上原 康熙 氏**
（株）EPI 代表取締役（玄海支部）
■ **折居 健 氏**
（株）興栄 代表取締役社長（玄海支部）
■ **白石 陸 氏**
（株）オーズインターナショナル 後継者（玄海支部）
■ **中村 脩人 氏**
（株）大寿工務店 専務取締役（玄海支部）
■ **吉住 大樹 氏**
大名焼鳥かまろ 代表者（玄海支部）

19水 **東支部8月例会**
18:00～19:00
アクア博多
福岡市博多区中洲5丁目3-8
☎ 092-733-1310
指先を使って脳を活性化し健康経営！
学びと交流を深め暑い夏を乗り切ろう！
■ **畑島 貴子 氏**
株式会社美和 取締役（東支部）

19水 **西支部8月例会**
19:00～20:45
福岡市立中央体育館
福岡市中央区赤坂2-5-5
☎ 092-741-0301
8月だよ全員集合！
ブロック対抗運動会

20木 **中央支部8月例会**
18:20～20:45
天神チクモクビル
福岡市中央区天神3-10-27
☎ 092-715-3250
WEB会議システム「Zoom」（ZoomミーティングID等は別途連絡）
理想の未来を据えて、自社を問い直す。
～単なる数値目標ではない、理念から逆算する「10年ビジョン」の真価～
■ **吉武 鑑泰 氏**
株式会社良久良久 代表取締役（有明支部）

20木 **福友愛支部8月例会**
18:30～20:30
つながる夏、ひろがる輪
八仙閣本店
福岡市博多区博多駅東2丁目7-27 Teraso-1
☎ 092-411-8000

20木 **のおがた支部8月例会**
18:30～21:00
ユメニティのおがた
直方市山部364-4
☎ 0949-85-1007
人が集まり育ち、辞めない会社の作り方
人材で成功する会社はどこが違うのか
■ **栗山 浩 氏**
株式会社アーキテックス 代表取締役（南支部）

20木 **りょうちく支部8月例会**
18:30～20:30
北野生涯学習センター
久留米市北野町中273-1
☎ 0942-78-2308
地域と生きる経営
大刀洗町パートナー企業制度から考える、
企業と地域の未来
■ **棚町 寿 氏**
大刀洗町役場
地域振興課 地域振興係 係長（会外）
■ **山田 貴裕 氏**
大刀洗町 地域おこし研究員
慶應義塾大学 SFC研究所 上席所員（会外）

20木 **福博支部8月例会**
18:30～20:30
Feliz天神
福岡市中央区春吉3-5-7 Riverfront
中洲西サウスサイド5階
☎ 092-791-7363
納涼会

21金 **久留米支部8月例会** 18:30～20:30
ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎ 0942-32-7211
同友会を知る会 経営を学び、よい会社づくりを目指そう！
■ **稲葉 雄大 氏**
株式会社イナバ 取締役（久留米支部）
■ **靄 健寿 氏**
鶴製茶 後継者（久留米支部）
■ **栗原 朋宏 氏**
株式会社ベストプランニング 代表取締役（久留米支部）

企業連携推進委員会FAST

21金 **FAST8月例会**
18:20～20:30
福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎ 092-686-1234
ランチェスター戦略×中小企業
小さな会社が業績を上げる連続セミナー
商品戦略:粗利を最大化する商品づくり
■ **深見 信吾 氏**
深見経営株式会社 代表取締役（東支部）
■ **荒川 亮平 氏**
有限会社東亜紙工社 代表取締役（筑紫支部）

22土 **筑紫支部8月例会**
18:00～20:00
イタリアンレストラン アンテナアト（グランドエンパイアホテル）
大野城市南大利2丁目1-23
☎ 092-596-7754
納涼会
ビアガーデンで盛り上がりよう！

22土 **青年支部8月例会**
11:30～14:00
海の家中村屋
福岡市西区今津4824
☎ 092-806-3309
こんしん！ ～夏～

22土 **糸島支部8月例会**
17:00～18:25
プティール倶楽部伊都国
糸島市浦志366-2
☎ 092-331-2220
近況報告大会
出席者全員

地域づくり推進本部・会員増強部

24月 **信用保証協会を知る会&同友会を知る会**
15:00～17:30
福岡県中小企業振興センタービル401
福岡市博多区吉塚本町9-15-4F
☎ 092-622-6230
■ **甲斐田 博臣 氏**
福岡県信用保証協会 企業支援部 次長（会外）
■ **豊島 圭 氏**
不動産の窓口株式会社 代表取締役（博多支部）

25火 **南支部8月例会**
18:30～20:50
アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8
☎ 092-263-4770
WEB会議システム「Zoom」（ZoomミーティングID等は別途連絡）
問題から逃げず、本質的課題に向き合う経営
目の前の問題を『未来を創るチャンス』に変える
■ **栗山 浩 氏**
株式会社アーキテックス 代表取締役（南支部）

28金 **有明支部8月例会**
18:30～20:00
白柳荘
柳川市新町16
☎ 0944-73-1188
同友会を知る会
同友会と私
■ **小野 新一 氏**
有限会社カネガエ防災設備 代表取締役（有明支部）
■ **西田 鮎美 氏**
凜 代表者（大牟田支部）

経営労働委員会

28-30金日 **第34期経営指針
作成セミナー**
（2泊3日合宿）
おおむたハイツ
大牟田市甘木甘木山1203-116
☎ 0944-58-3497



月刊
同友

8
月号
2026
vol.721

会員
トピックス



中川氏による
グループ討論の原理原則



兼竹氏による
「俺のグループ長論」

北九州地区では北九州支部の2つのブロック、ひびき支部の2つのブロックの合同ブロック会として、6月12日（金）にグループ長研修会を開催しました。総勢36名が参加し、例会さながらの賑やかなブロック会となりました。同友会の代表的な取り組みでもある「グループ討論」ですが、このグループ長をできる会員が意外と少ないということが明らかになる中で、今回の研修会の開催に至りました。

ブロックにわかれての会務報告会もほどほどに、まずは中川照将氏（北九州支部）

による「グループ討論の原理原則」の話。北九州地区秘蔵のグループ討議マニュアルをもとにわかりやすく話していただきました。次は兼竹義彦氏（北九州地区副会長・北九州支部）による「俺のグループ長論」。兼竹氏は会歴30年以上の大ベテラン。これまでの経験をもとに「グループ長の役割とは？」を語っていただきました。内容を少し紹介すると「切り出しは元気よく」「いちいちリアクションしない」「しゃべれない会員にはグループ長が引き出してあげる」「ベテラン会員に話を振って深掘りしてみる」など討論活性化のための重要な視点ばかりでした。



ベテラン班の討論

北九州支部・ひびき支部合同ブロック会 自社でも役立つ グループ長研修会

文・写真: KOHO株式会社 林田 孝一（ひびき支部）



ミドルクラス班の討論



ルーキー班の討論

2つの話の後は参加者を「ベテラン班」「ミドルクラス班」「ルーキー班」に分けてのグループ討論の実践です。テーマは「ブロック会の活性化はどうすればよいのか?」。私はミドル班でしたが、皆さん学びたてとあってか、発言も積極的で実りある討論になったと感じました。ただし、まとめの時間が不十分でグループ発表が若干グダグダだったのは良い教訓になりました（笑）。

今回学んだ参加者一同、きっとグループ長がしたくてウズウズしていると思います。今後のグループ討論が楽しみになるブロック会でした。

2026年8月1日発行（毎月1回・1日発行）

福岡同友会 |

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 8月31日(月)

月刊同友会では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。

よろしければQRコードからアンケートにお答えください。（所要時間 4分）



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366